

地下鉄・路面電車に無料で乗車できる幼児の人数が4/1(水)から変わります

路面電車の運送事業者も変更

4月から、1歳以上の未就学児にかかる地下鉄・路面電車の乗車料金が、保護者1人につき4人まで無料になります。また、路面電車の運行や日常的な点検などの運送事業を、市から新たな事業者へと引き継ぎます。今後も安全で快適な運行に努めていきますので、引き続きご利用ください。

詳細 事業推進担当 ☎896-2706、地下鉄・路面電車の料金は交通案内センター ☎232-2277

地下鉄・路面電車 保護者1人につき幼児4人まで乗車料金が無料に

<p>3/31まで</p> <p>保護者(小学生以上)1人につき幼児(1歳以上の未就学児)は1人まで無料</p>	<p>4/1から</p> <p>保護者1人につき幼児4人まで無料</p>	<p>地下鉄 幼児を3人以上連れていくときは安全のため、改札通過前に駅員までお声掛けください</p> <p>路面電車 降車時に運転手へ幼児の人数をお知らせください</p>
---	---	---

地下鉄とバスの乗り継ぎについては、市交通局ホームページでご確認を [札幌市交通局 乗車料金](#) **検索**

路面電車 運送事業を交通事業振興公社に引き継ぎます

4/1(水)から、路面電車を運送事業と整備事業に分けて運営します(上下分離方式)。運送は地下鉄駅の業務などに携わってきた交通事業振興公社へ引き継ぎ、整備はこれまでと変わらず市交通局が担当します。

運送 交通事業振興公社

- ・電車の運行や管理
- ・車両や停留場、レールの日常的な点検・修理 など

整備 市交通局

- ・車両の買い替え、レールや停留場の大規模な工事 など

期待される効果

- ・経営基盤の強化
- ・安全運行体制の維持
- ・新たな運送事業者による利用者サービスの向上 など

変更後も運行ダイヤ・乗車料金は変わりません



新しく始まる事業や制度の変更など皆さんの生活に関わるニュースをお届け!

札幌国際芸術祭2020の主な企画内容が決定

参加アーティストや展示予定作品を紹介します

3年に一度、国内外から多くのアーティストが集結し、市内各所に多彩な芸術作品を展示する「札幌国際芸術祭2020(SIAF2020)」が3回目となる今回は、初の冬季開催となります。雪や景観を生かした札幌ならではの芸術の祭典にご期待ください。

詳細 国際芸術祭担当 ☎211-2314

札幌国際芸術祭 (Sapporo International Art Festival) 2020

12/19(土)~来年2/14(日)

主な会場 市民交流プラザ、モエレ沼公園、芸術の森、資料館、道立近代美術館、道立三岸好太郎美術館 ほか
参加アーティスト 19組(2月現在)。9月に第二弾の発表を予定

注目の作品や参加アーティストを紹介

テクノロジーとアートを組み合わせた名作がアジア初上陸!

作品 Re:Senster

会場 市民交流プラザ

全長5メートルにも及ぶ鋼でできた動く彫刻。コンピューターによって周囲の動きや音に反応して動く姿は、まるで生き物のようです。



氷河地帯を舞台にした迫力の映像作品

参加アーティスト ジュリアン・シャリエール

会場 モエレ沼公園

普段は入ることができない雪倉庫*の中で、地球温暖化によって氷河が解けている問題について考える作品を上映します。

*冷房に利用するための雪を保管する倉庫



このほか 雪や氷を生かした屋外企画、道立近代美術館所蔵の作品と現代アートを一緒に見ることが出来る企画など多数の企画展示を予定しています

芸術祭と皆さんをつなぐコミュニケーションマークが完成



芸術祭のテーマ「Of Roots and Clouds*:ここで生きようとする」を、視覚的にも知ってもらうためにデザインしたものの。イメージカラーの青は、冬のイメージと、澄み切った札幌の天空を表しており、そこに浮かぶ雲の中に「Siaf」の4文字が隠されています。

*Roots=根、Clouds=雲

芸術祭の情報はホームページでもご覧になれます [札幌国際芸術祭2020](#) **検索**

① Photo by Natalia Kabanov. Courtesy of WRO 2019/WRO Art Center. ② (Towards No Earthly Pole)2019 映像からのスチル © the artist: VG Bild-Kunst, Bonn, Germany